

第18回 関門景観審議会 議事要旨

日 時：平成28年2月4日（木）15：00～16：50

場 所：北九州市役所本庁舎 15階 特別会議室B

出席者：委 員 坂本会長・浅田委員・中村委員・松下委員・松山委員 5名

事務局 下関市都市整備部まちなみ住環境整備課

北九州市建築都市局計画部都市計画課

議事（1）関門景観審議会傍聴要領改正について

原案どおりで了承する決議がされた。

議事（2）北九州市の景観計画制度における課題等への対応について

- ・ 臨海部産業景観形成誘導地域については近年、土地利用が工場だけではなく、住宅や商業施設へ変化している状況であれば、色彩基準を寒色系ばかりに限定せず、少し暖色系に広げて良いのではないか。
- ・ 市松模様やストライプなどは取り扱いが難しい。市松模様といっても明度差によって見え方がかなり変わるので、他都市の事例を見ながら、基準を検討するべき。

議事（3）「下関夜間景観ガイドライン」（案）の策定について

- ・ 夜間景観は、単に夜間景観の創出ということだけではなく、まちづくりに繋がるものであるから、ガイドラインの活用次第では、下関の中心市街地の活性化につながる感じがする。
- ・ 夜の安心というのがベースなわけだが、安心・安全ばかり言っては、なかなか美しい夜間景観にはならないので、ガイドラインの整備方針である「夜も出かけたが街・しものせき」のように、方針設定がとても重要である。
- ・ 夜間景観とは明るくするだけの話ではなく、見せ方があるし、ただ賑わえば良いだけではない。下関は今、夜間景観を考えるのにすごくふさわしい状況になっており、ガイドラインがうまく活用されると、すごく良いまちになる可能性がある。
- ・ 下関はどちらかというと広がっている街で、門司港はまちのすぐ背後に山が迫る感じであり、海から見ると夜間景観も特徴が出やすい状況にある。各々が違う特質を持って違う演出をして、景観ナイトクルーズのようなことを考える民間の業者が出てくる状況になれば、すごく素晴らしい。
- ・ ガイドライン策定以降、市民の色々な意見を聴取するためにも、夜のウォーキングを企画し、それらからの提案を反映していくと面白いのではないかと。